| | 構造力学基礎演習<br>Exercises in Fundamental of Structural Mechanics |
|---|---|

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教員名 | 馬場　研介（ばば　けんすけ）瀧野　敦夫（たきの　あつお） | | | | | | | |
| 教員連絡先<br>（研究室所在地・TEL） | 吹田キャンパス　Ｓ１棟７階７１１室<br>電話: 06-6879-7355 | | | | | | | |
| E-MAIL アドレス | atsuo@arch.eng.osaka-u.ac.jp | | | | | | | |
| 履修対象 | 地球総合工学科建築工学コース（２年次） | | | | | | | |
| 単位 | 1 | セメスター | ３ | | | | | |
| 受講条件 | 構造力学基礎を受講していることが望ましい. | | | | | | | |
| 授業の教育目的･目標<br>他科目との関連 | 建築構造物の構造解析法に関する基礎的な理解を深めるために、建築骨組の構成要素に対する力学と基本的な構造形式の解析法について、演習に基づいて習得することを目指す。 | | | | | | | |
| 学習・教育目標 | A | B | C | D | E | F | G | H |
| | ○ | | | ◎ | | | | |

| 授業計画・概要 | テーマ | 概要 | 学習･教育目標 |
|---|---|---|---|
| | 静定梁（５回） | いくつかの例題を用いて静定梁の解析法について理解を深めるとともに、種々の静定梁の解析に関して演習を行う。(包括５回) | A D |
| | 静定トラス（５回） | いくつかの例題を用いて静定トラスの解析法について理解を深めるとともに、種々の静定トラスの解析に関する演習を行う。(包括５回) | A D |
| | 応力度と歪度（２回） | いくつかの例題を用いて、軸力や曲げモーメントを受ける部材の応力度と歪度を求めるための演習を行なう。(包括２回) | A D |
| | 断面の諸量（３回） | いくつかの例題を用いて部材断面の断面積・断面一次モーメント・断面二次モーメント・断面係数を求めるための演習を行い、これらの諸量と応力度・歪度との関係について理解を深める。(包括３回) | A D |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 特定の教科書は用いない。 |
| 参考図書・文献等 | 中村恒善編著「建築構造力学 図説・演習 I」、丸善, 内藤多仲監修「建築構造学１ 構造力学-I」、鹿島出版会 |
| 成績評価方法・評価基準 | D についてはレポートで評価する (70%)。<br>A については出席態度と課題発表で評価する (30%)。 |
| オフィスアワー | 随時 e-mail にて対応 |
| コメント | 構造力学の基礎となる演習なので十分な理解が望ましい。 |